

叫べば

戸をたたいた神が叫べば

彼の跡に目眩めくるめく

受け継がれる位の悲しみと愛

欲張よくばりな言葉も今宵限りは許される

今度は私が名を叫べば

真新しい言葉が芽吹く

鮮やかに麗うるわしく散る敬意

癩癩かんしゃくを起こしそうだ 祝いに微睡まどろむ

着物を裂いて彼が叫べば

筆を啜くわえたまま眠る

古びた半紙は秘湯ひとうの色

浮き袋を持たぬ魚は深海で溺れる

彼らうがを穿ったのは

僕のせいかい

袂を分かった君のせいかい

貴方あなたは捻ひねくれた子供のように

水のように透ける粹いきな繊細さ